

## 果物を通じて、地域ぐるみで 子育て世代の多様な関係性を構築する

県産果樹を活用した商品・サービスの開発により、子育て世代が親と子の関係だけでなく、親子と祖父母や親子と生産者などとの豊かな関係を構築することで、果樹産業や地域経済の活性化を図る。



子育てママの座談会を開催し、消費者の意見を活かした商品の試作品を開発した。また、園地見学や子育てメディアでの情報発信などを通じ、子育て世代が果物を「楽しむ」「親しむ」取組を展開した。

### プラットフォームの形成

▶ 生産者、加工・流通業者をはじめ、子育てメディア、調理製菓専門学校、金融機関、IT事業者など、多様な業種・業態で構築した。地元産果物を題材に、地域ぐるみでの取組を推進した。

LFP パートナー数 | 31社・団体

2022.3 現在

### 主な取組内容

- ▶ 果樹生産農家や加工・流通業者、子育てメディアが連携し、子育てママの参画による「規格外の果物を活用し、栄養価や風味を活かしたドライやピューレなどの一次加工品の開発」や、「園地見学や収穫体験などのサービスの開発」に取り組んだ。
- ▶ 果物のもつ魅力の発信や、生産者と消費者の接点づくりなどを通じて、果物の消費拡大を目指している。

## 消費者参加型の商品開発による 地域共創ビジネスの構築

未来志向で持続可能な「稼げる」ビジネスの創出を通じて、子育て女性をはじめ多様な人材が参画・活躍する社会をめざして、農村地域、食文化、農のある豊かな環境を未来につなぐ。



ママ356人の意見をもとに、農産物加工事業者がもつ低温スチーム加工技術を用いて県産野菜を加工、野菜の栄養と素材の味が楽しめるスープを開発。

### プラットフォームの形成

▶ 消費者から1次・2次・3次事業者を巻き込んだ食農コミュニティの形成をめざし、子育てママNPOを軸に、農家、加工業者、流通事業者、試験研究機関、地元金融機関等で構築した。

LFP パートナー数 | 14社・団体

2022.3 現在

### 主な取組内容

- ▶ 子育てママNPO、女性農業経営者、農産物加工事業者が連携し、子育て世代の食の悩みをもとに、野菜の栄養を丸ごと味わえ子供から高齢者まで家族全員で楽しめるスープを開発した。
- ▶ ママ目線で、地域に根ざし安全安心な商品进行评估する「ママ認定制度」にも取り組んだ。